

令和4年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立介護老人保健施設
指定管理者	社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会
指定期間	令和２年４月１日～令和１２年３月３１日
施設概要	施設入所・短期入所・通所リハビリテーションサービス（予防含む）
市支出額	無し

2. 事業の実施状況

各サービスの利用状況	(令和4年度実績) (1) 施設入所・短期入所(予防含む) 定員100名 利用者数: 32,584人(延べ) 89.3人(1日平均) (2) 通所リハビリテーション(予防含む) 定員40名 利用者数: 7,547人(延べ) 24.3人(1日平均)
リハビリテーションの充実	(1) 個別リハビリテーションの充実 入所・通所において、個別リハビリテーションの強化に取り組み、一人ひとりの利用者様に対して具体化したリハビリを実施しました。 (2) 在宅向けリハビリの実施 在宅復帰を目的とした、在宅訪問を実施することによる、在宅生活を見据えた、リハビリテーションを実施しました。
行事・レクリエーションの充実	(1) 入所 ①職員によるレクリエーションの実施(毎日) ②季節に応じた行事の実施 新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、一部市立病院へお花見をした以外は外出や外部の出演者を呼んでの行事はすべて中止し、各フロアにて、季節感を味わえるよう飾り付けなどを実施しました。 (2) 通所 ①職員によるレクリエーションの実施(毎日) 中止していたカラオケをR4.10月から再開し、実施できず、可能な範囲で利用者様それぞれの機能レベルに合わせたレクリエーションを実施出来るよう努めました。 ②季節に応じた行事の実施 ※節分、七夕、盆踊りなど
ボランティアの受け入れ	(1) サークル活動ボランティアの受け入れ 新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、ボランティアの受け入れは入所はすべて中止し、通所のパソコン教室と裁縫ボランティアのみとしました。 (2) 多様なボランティアの受け入れと福祉教育への取り組み ボランティアの受け入れは中止しましたが、福祉教育への取り組みは再開し、小学校2校、中学校1校へ出向きました。

人材育成の推進	(1) 外部研修の活用 スキルアップのため外部の研修に積極的に参加しています。 また、外部研修で得た知識、技術を他の職員に還元するため、職員自らが講師となり、内部研修も行っています。 ※外部研修実績：26件 内部研修実績：11件 (2) 看護、介護、リハビリ職員の指導力養成 実習生を受け入れることで、将来の人材を育成すると同時に当施設職員の指導力能力の向上が期待できます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症のため、受け入れを制限し、看護師9名、理学療法士3名の受入れにとどまりました。
危機管理対策の推進	(1) 感染予防対策の強化 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入所者への面会は、感染拡大中に大阪府から陽性があった時はオンライン面会のみとし、それ以外は1階ロビーにて時間を区切ったの実施としました。2月からは面会時間の拡大も行いました。 通所は、特に利用抑制を行わず、マスク着用や十分な換気、食事でも4人から2人などの感染対策を取りながらや実施しました。スタッフは週に2回の抗原検査を実施し、本人や家族に体調不良者がいる場合は休みを取るなど対策を実施しました。また基本的な手指消毒の徹底、インフルエンザワクチンの接種、感染予防の研修など、内部の感染対策に関して、細心の注意を払っていました。しかしながら3月に初めてクラスターが発生し、利用者19名、職員5名が罹患しました。

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	調査期間：令和5年8月15日～令和5年9月15日 ＜利用者アンケート＞ 配布数：入所72人 通所92人 全体164人 回答数：入所21人 通所54人 全体75人 回答率：入所29.2% 通所58.7% 全体45.7% ＜家族アンケート(入所)＞(R4から実施) 配布数：72人 回答数：29人 回答率：40.3%
--------------------------	---

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要 (箕面市立老健独自)	毎年、箕面市立老健ではアンケートの結果報告をふまえて、独自の意見交換会を行っていますが、令和3年度に引き続き、4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できませんでした。
---	---

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	日々のご利用者様やご家族様からのお声、またアンケートによるご意見等を、毎月の運営会議や行事委員会、苦情委員会などの委員会活動において検討し、改善を図っています。 長年のご意見でありました1階トイレの温水洗浄便座化については、令和4年11月初旬に設置いたしました。
-------------------------	--

4. 収支状況

(令和4年度実績)

収入： 621,415,510円

支出： 608,163,149円

差額： +13,252,361円

(事業活動計算書より)

5. 特別提案の状況

訪問リハビリの実施 (自主事業)	入所および通所の「施設型」だけでなく、在宅へ出向く「訪問型」のサービスとして、平成29年12月1日からスタートし、徐々に利用者を増やしています。在宅復帰超強化型施設として、この入所、通所、訪問リハにより、ご利用者へつながりのあるサービス提供を進めていきたいと考えます。 (令和4年度実績) 利用者数：482.5人(延べ) (R3実績467人)
市民向け講座の開催 出前講座の実施	開かれた施設として、地域との連携、協力を行っていくために、例年講座を企画して、地域へ福祉の啓発や知識・技術の還元を行っています。R4年度から再開し、認知症サポーター養成、認知症サポーターステップアップ講座、体力測定、排泄ケア講習会、介護予防教室を市民の方々に向けに実施しました。また福祉教育への協力として、市内小中学校へ、高齢者疑似体験や車いす講習も実施しました。

6. 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、利用者様・家族様には自由に面会できない不自由な環境となっていますが、入所者の安全を第一に取り組みました。職員の定期抗原検査の実施など徹底した感染対策を実施してまいりましたが、3月に3週間に及ぶクラスターが発生し、19名の入所者が罹患してしまい、ご家族をはじめ関係者にご心配をおかけしました。利用者アンケートは、回答率を上げるために、R3年度から項目を半分にして回答の負担軽減を図ったり、入所利用者で回答可能な方は、直接お渡しして記入いただいたり、スタッフによる聞き取りにて回答いただき、R3年度は回答率が大幅に上がりましたが、R4年度は29.2%（前年54.9%）下がりました。通所は58.7%（前年55.4%）と上がりました。利用者の満足度という視点から質問項目の全体の満足度の平均は83.4%となり、昨年より1.6ポイント増加しました。ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進を図り「看取り」を継続的に実施するとともに、在宅復帰を支援する「在宅超強化型」老健として運営しました。福祉人材不足の影響から年々人員補充が厳しくなっておりますが、様々な求人媒体を活用し充足に努めていきます。ご利用者やご家族、求職者など関係者のみなさまにより市立老健を知っていただくため、施設独自のホームページをR5.3月に開設しました。施設の理念や雰囲気、内容などをお伝えするため、こまめな更新に努めます。市立老健の安定的な運営を目指し、本アンケートに寄せられた多様な意見を参考に、更なる業務改善を図って参ります。